

令和6年度 緑の環境調査



佐久市生きもののさがし

調査報告書



令和7年3月

佐久市 環境政策課



目 次

はじめに・生物多様性とは	1
調査方法・内容・期間・報告数	2
分布図の見方・注意	3
第1章 調査対象種	
1 コウモリ類	4
2 ヤモリ	6
3 ゲンゴロウ	8
4 カワセミ	10
5 サンショウウオ	12
6 ニセアカシア（ハリエンジュ）	14
第2章 調査対象種以外	
2-1 昆虫類 2-2 植物類 2-3 魚類・両生類・は虫類	16
2-4 鳥類 2-5 ほ乳類 2-6 その他	
調査員から寄せられた感想	35
考察専門員の先生から	37
まとめ	40

はじめに

「緑の環境調査」は、市の自然環境の状態を探るとともに、環境保全に対する市民の皆様の意識高揚を図る目的で、平成4年度から実施しています。

毎年度調査対象種を選定し、市民の皆様からの目撃・確認報告をしていただくことで、市内の生物多様性を把握する資料となっています。

平成30年3月に「佐久市生物多様性地域戦略」を包含した市の環境行政の基礎となる「第二次佐久市環境基本計画」を策定し、令和5年3月にはこの計画の検証を踏まえて改訂版を策定しました。その中で指標生物に定められた15種の中から4種と市内各地で観察が可能な2種を選定し、今年度の「佐久市生きものさがし」を実施しました。

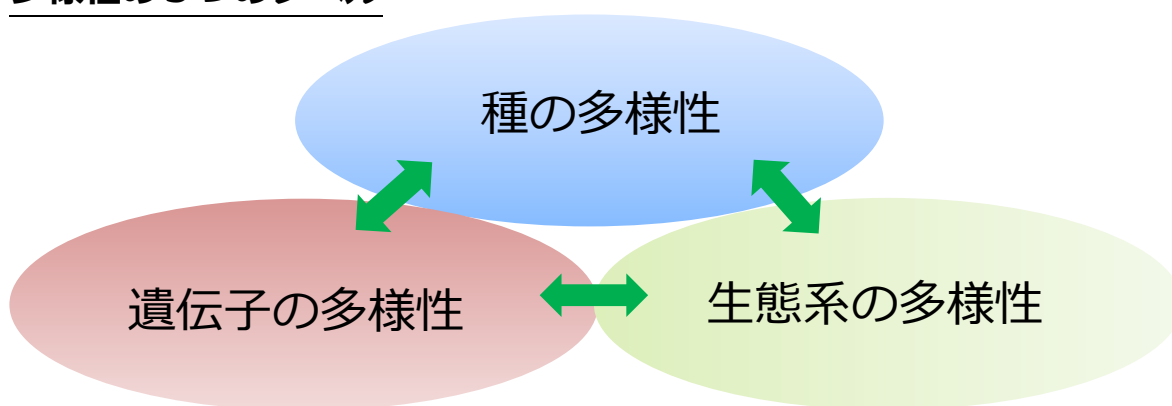
生物多様性とは

生物多様性とは、生物の豊かな個性のつながりのことです。地球上の生物は40億年という長い歴史の中で、さまざまな環境に適応して進化し、3,000万種ともいわれる多様な生物が生まれました。これらの生命は一つひとつに個性があり、全て直接的・間接的に支えあって生きています。

生物の多様性に関する条約では、「生態系の多様性」、「種の多様性」、「遺伝子の多様性」の3つのレベルで多様性があるとしています。

生物多様性の保全には、地球温暖化対策と同様、早急な対応が必要です。

多様性の3つのレベル



生態系の多様性：草地や森林、海洋などさまざまな生態系のこと

種の多様性：さまざまな動植物が生息・生育していること

遺伝子の多様性：同じ種でも個体ごとに遺伝子がさまざまであること

調査方法

ハガキ、メール、電話、FAX、LINE、X（旧 Twitter）、オンライン報告にて報告を受け付けました。

また、市立図書館や佐久市子ども未来館等にも報告コーナーを設けました。

その他に、学校や家庭での地球温暖化防止に向けた活動を推進するため、「わが家のエコ課長」を委嘱している市内の小学4年生の皆様にもご協力いただきました。



調査内容

佐久市内で見つけた、調査対象種6種とめずらしい生きものや見たことのない生きもの、見つけた生きものについて、「種類」「場所・環境」「日にち」「数・特徴」「気づいたこと・感想」を報告していただきました。

調査期間

令和6年4月1日～令和6年12月31日

報告数

1, 192件

※ 1つの生きものを1件とする。

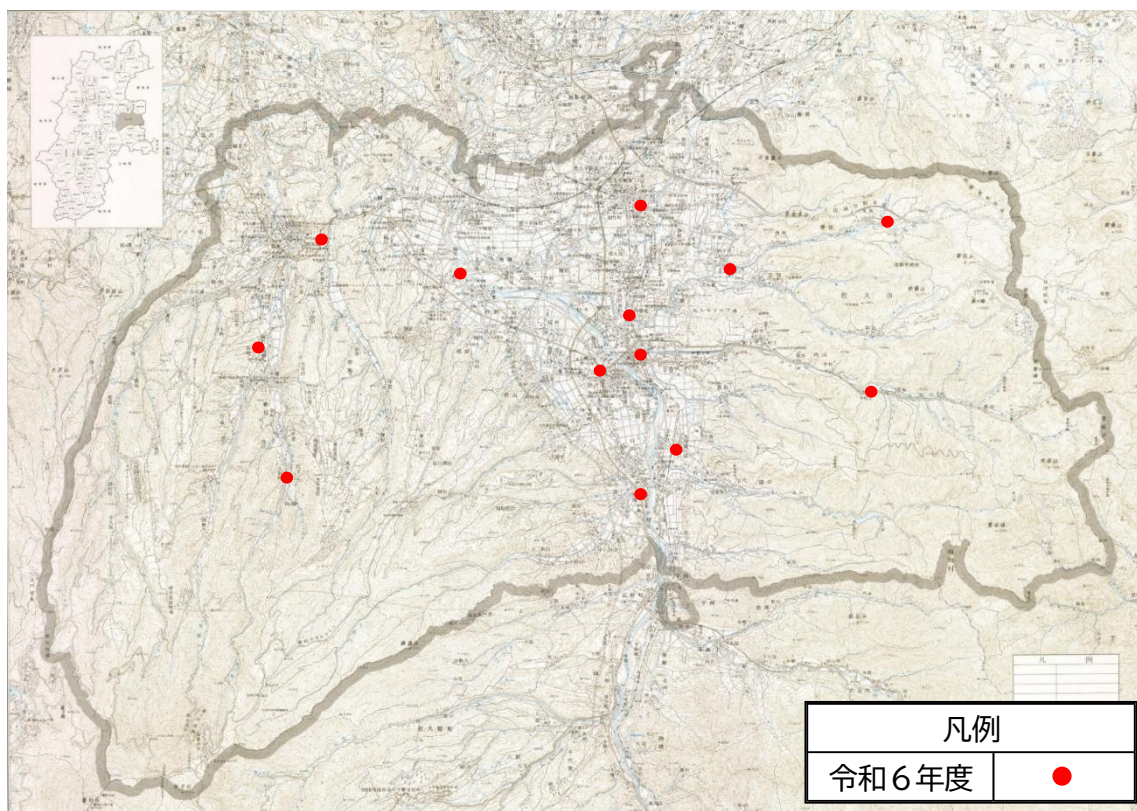
(内訳) 一般： 257件

小学生： 935件

分布図の見方

結果の分布図は、報告により場所が分かるものを記載しています。
したがって、報告で場所が特定できなかったものは記載していません。
また、同一地点で複数の報告があった生きものもいます。
そのため、報告件数と分布図上の地点数は一致していません（下図参照）。

（例図）報告件数 20 件、場所の特定ができた報告 15 件（同一地点 2 か所）、
報告場所不明件数 5 件



注意

この調査は市民の皆様にご協力いただき、身近な場所や出かけた先で見つけた生きものを報告していただいています。

そのため、どこにどんな生きものがいたかということを示すものであり、そこにいる数を示すものではありません。

また、市内全域について調査を行っているものではないため、記載のない場所にその生きものはいないということを示すものではないということをご了承ください。

第1章 調査対象種

1 コウモリ類

特徴

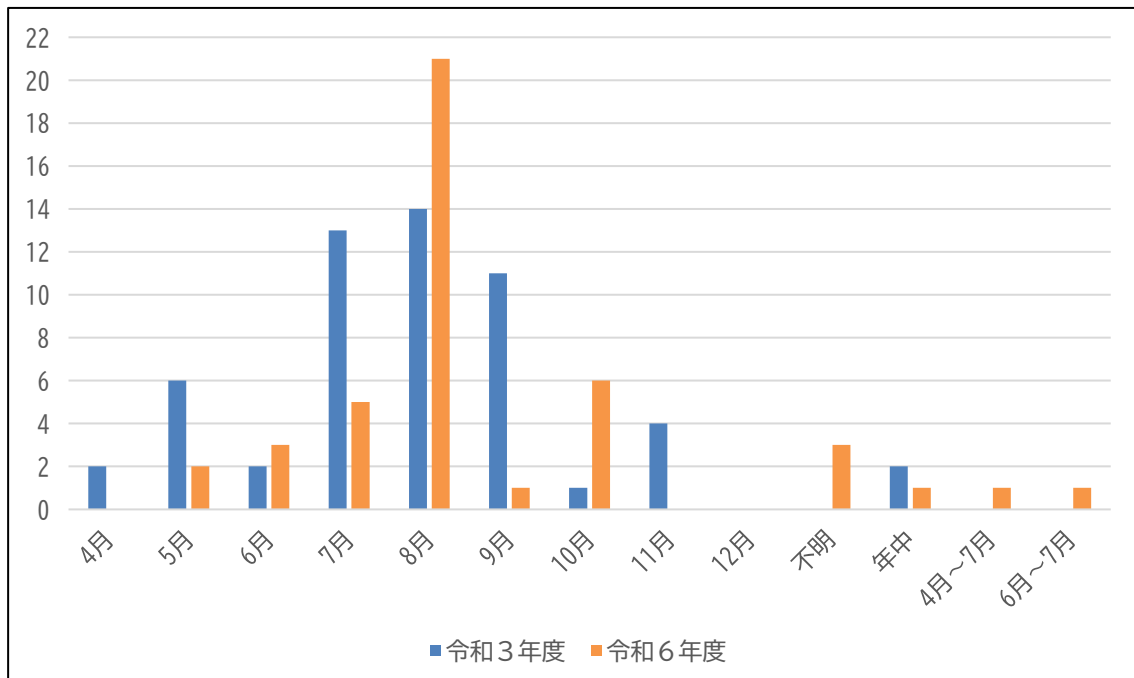
- ・コウモリ目
- ・夜行性
- ・鳥類ではなく哺乳類
- ・羽ばたきが激しく、
キーキーと高い声を出す
- ・家の屋根裏にいたり、
小さなフンが落ちている
- ・市街地、里山の指標生物



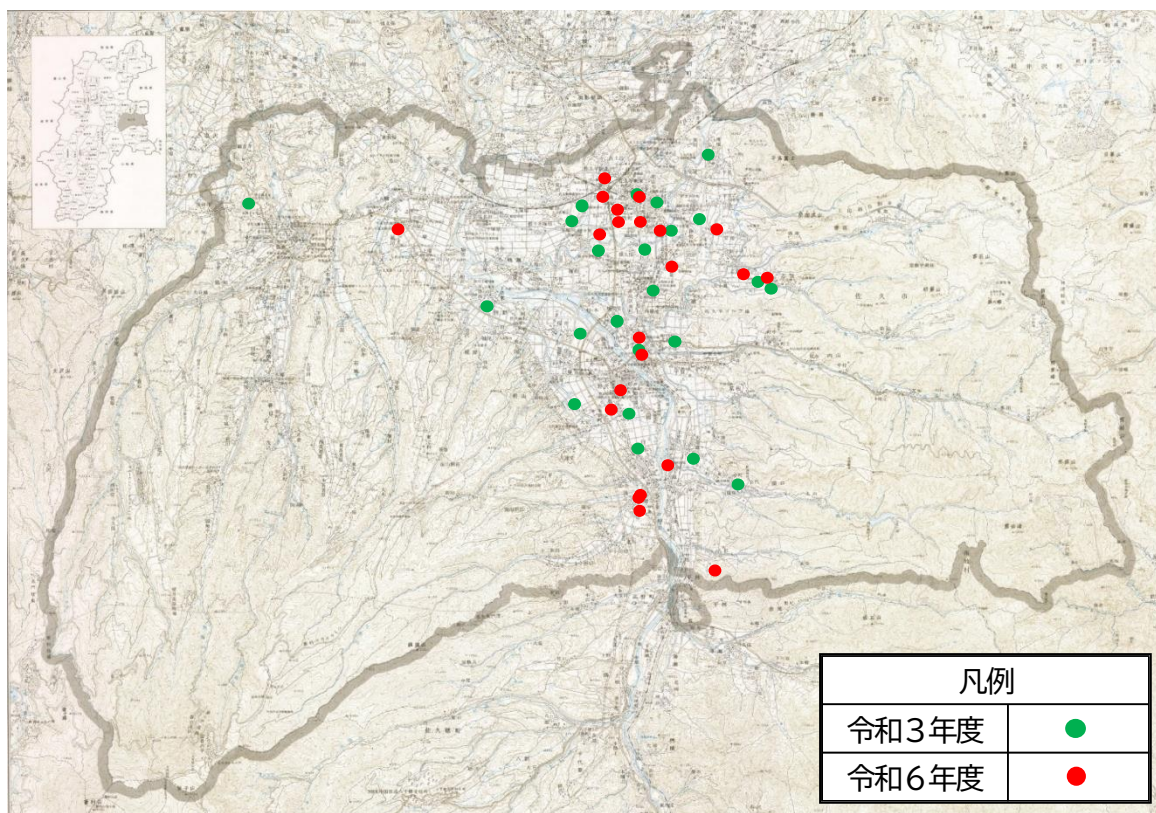
報告件数 44 件

見つけた時期

(件)



分布図



8月に見つけたとの報告が多く寄せられました。夏場は、日が長くなり、コウモリを確認できる時間帯が長くなること、エサとなる昆虫も増える時期であることや繁殖期に当たるため、目撃できる機会が多くなったと思われます。

コウモリは、種類によりますが古くなった木にできる樹洞や家の天井裏をすみかとします。今回の調査では、岩村田地区や中込地区、臼田地区での報告が多数ありました。これらの地域は住宅地であることから、天井裏などに生息しているものが多く、実際に「屋根裏に100匹以上いる」との報告もありました。

コウモリが活動する時間

一般的にコウモリの活動する時間帯は、日没後の時間帯です。過去の緑の環境調査からも、コウモリの発見時間が18～19時頃に集中していました。これは昼間は洞窟や家の影などに隠れていたコウモリが一斉に飛び立ち、エサとなる昆虫などを食べに出てくる時間でもあり、発見しやすかったのではないのでしょうか。

また、1年のうちでコウモリが活発に活動するのは春～秋にかけての時期で、冬になると冬眠し、めったに姿を現しません。

2 ヤモリ

特徴

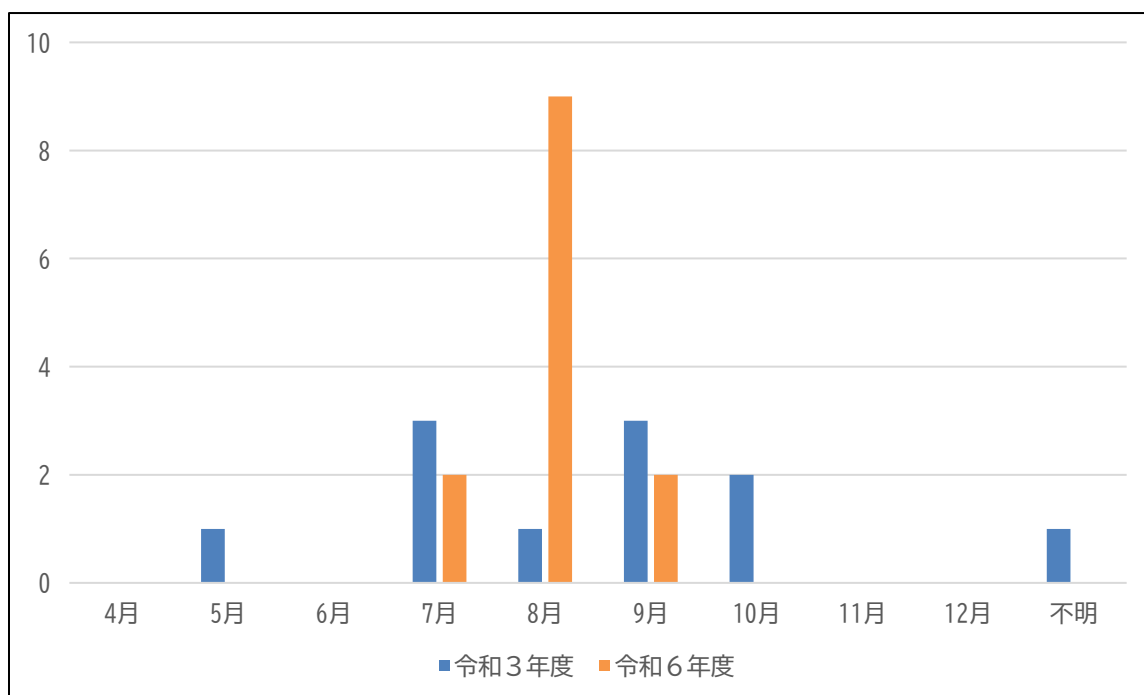
- ・有隣目ヤモリ科
- ・爬虫類
- ・古い住宅地や商店街で目撃される
- ・夏の夜には建物の壁や窓、
網戸にくっついていることが多い
- ・トカゲの仲間で、
両生類の「イモリ」とは違い、
水中生活は行わない
- ・市街地の指標生物



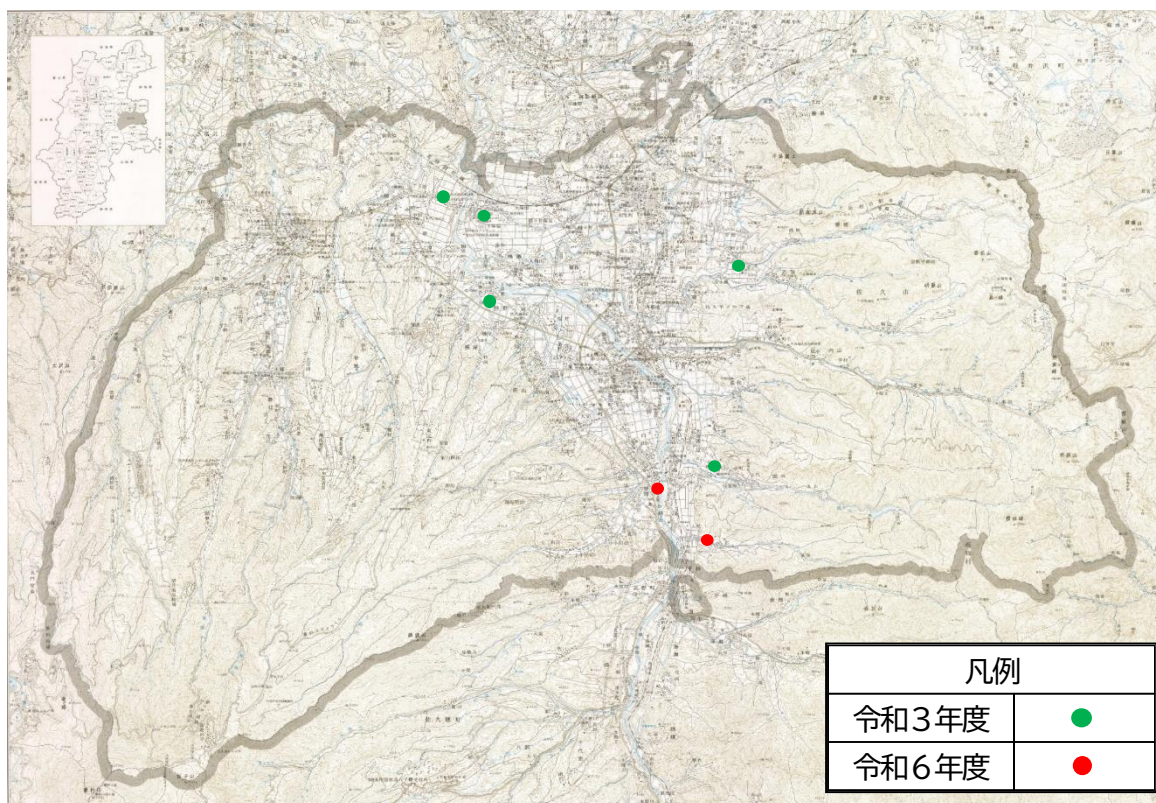
報告件数 13 件

見つけた時期

(件)



分布図



7月から9月にかけての報告がありました。ヤモリは、気温が高くなる7月、8月中に活動が活発になりますが、今年度も猛暑が続き、高い気温が保たれていたため9月まで報告がありました。

報告場所については、浅科地区や臼田地区、東地区で報告があり、これは前回の調査（令和3年度）と同様の地区で確認されました。具体的には、自宅の周辺で見かけた方がほとんどでした。調査の中で、「動きがとても速かった」、「すばやく動いていた」という声が多くありました。

環境省及び複数の都道府県でレッドリストの指定を受けているため、市でも報告が寄せられた場所や数など、今後も注視していく必要があります。

ヤモリ と イモリ の違いは？

ヤモリとイモリはすんでいる所で見分けることができます。

ヤモリ … は虫類でトカゲの仲間、民家の壁などの陸上で生活しています。

漢字で「家守」と書き、民家などにすんでいて、家を守ると言われています。

イモリ … 両生類でカエルの仲間、水中や田んぼなどの水辺で生活しています。

漢字で「井守」と書き、水の中にすみ、井戸を守っていると言われています。

3 ゲンゴロウ

特徴

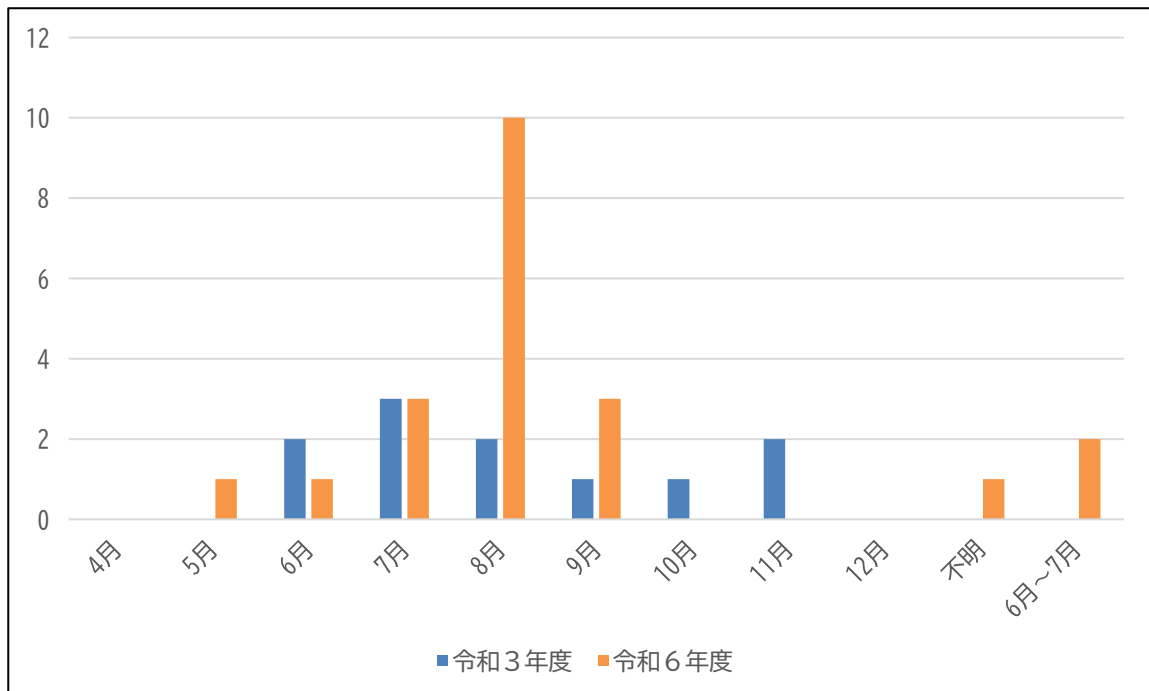
- ・コウチュウ目ゲンゴロウ科
- ・大きさは3～4センチ程度
- ・昆虫類や小魚類をエサとする
- ・水田や池などの止水域に生息する
- ・環境省レッドリスト 絶滅危惧Ⅱ類
- ・長野県版レッドリスト 準絶滅危惧種



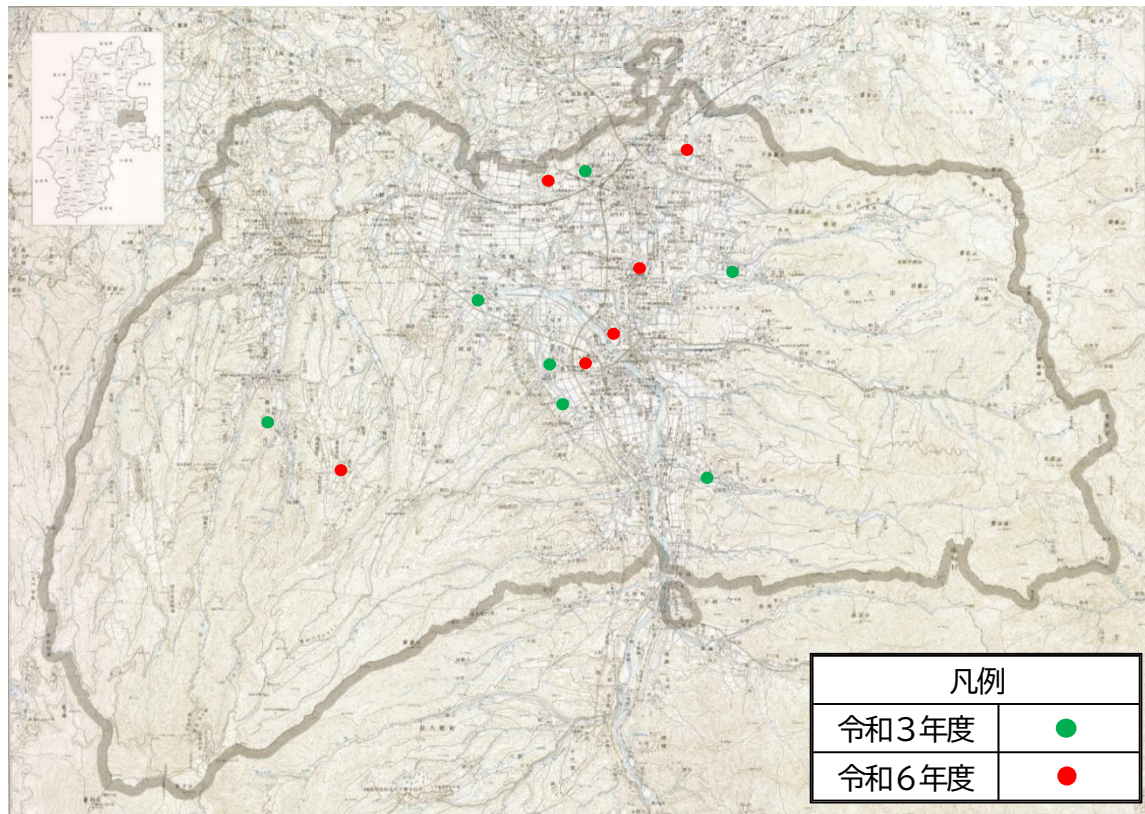
報告件数 21 件

見つけた時期

(件)



分布図



夏は田んぼなどに広く生息し、秋になり田んぼの水がなくなると、付近の池や沼などに集まり、個体密度が多くなります。

近年は、用水の護岸工事が進んだことや農薬を使用した農業の効率化、水質汚染、外来生物の増加などにより個体数の減少が危惧されており、環境省のレッドリストで絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。

今回の調査では、令和3年度に報告が多かった水田や川でも引き続き報告が多くありました。また、新たに発見された場所も確認できました。

かつて市内では、たんぱく源として食用にするほど多く確認されたゲンゴロウですが、個体数の減少が危惧されるため、今後も個体数の増減を定期的に確認する必要があるそうです。

調査員からの写真



猿久保



常田

4 カワセミ

特徴

- ・ ブッポウソウ目カワセミ科
- ・ 大きさは15～20センチ程度
- ・ 水辺に姿をみせる
- ・ 「チチチチ」と高く鳴く
- ・ 市内では小諸発電所第一調整池

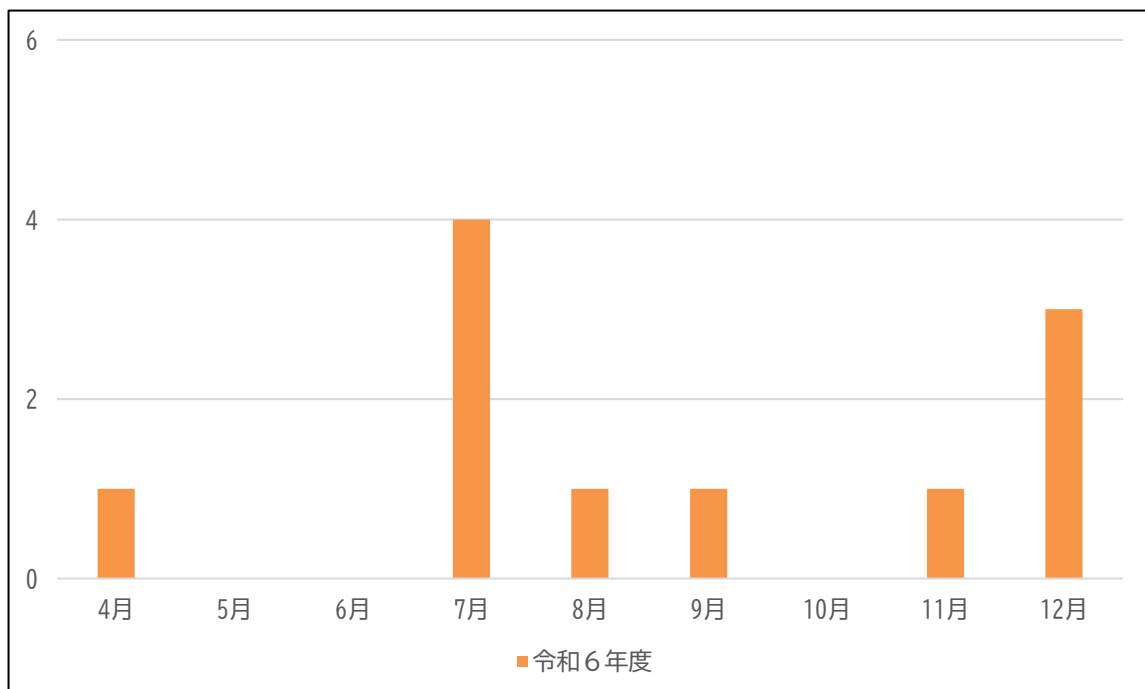


(東電調整池、または杉の木貯水池) 等でみられるが、個体数は少ない

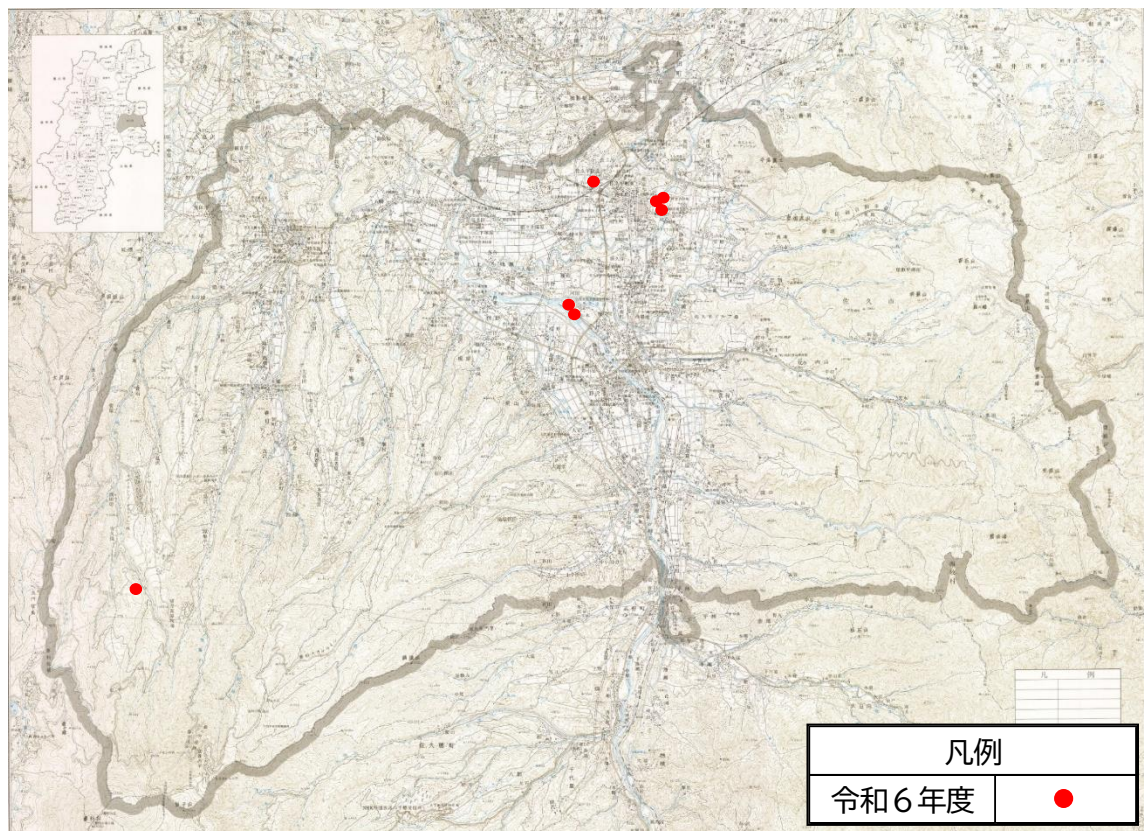
報告件数 11 件

見つけた時期

(件)



分布図



カワセミは、季節的な移動をしない留鳥であるため、一年中見ることできる可能性があります。今回の調査では春先から夏、秋から冬と年間通して報告があり、その中でも7月と12月で報告が多く、活発に活動している時期なのかもしれません。

カワセミの生息場所としては、河川や湖沼です。前回の調査（平成28年度）では、内山、根岸、原、美笹、桑山、杉の木貯水池で見つかったとの報告がありましたが、今回の調査では、佐久平、岩村田、中込、杉の木貯水池で見つかったとの報告があり、新たに発見された場所も確認できました。この報告のいずれも、河川の近くまたは湖や池のある場所でした。

調査員からの写真



杉の木貯水池



湯川

5 サンショウウオ

特徴

- ・有尾目サンショウウオ上科
- ・森林や水がきれいな溪流などを好み、落ち葉や石の下などに潜んでいる
- ・ミミズや小さな虫などをエサとする
- ・長野県では、ハコサンショウウオやクロサンショウウオ、ヒダサンショウウオなどがみられる可能性がある

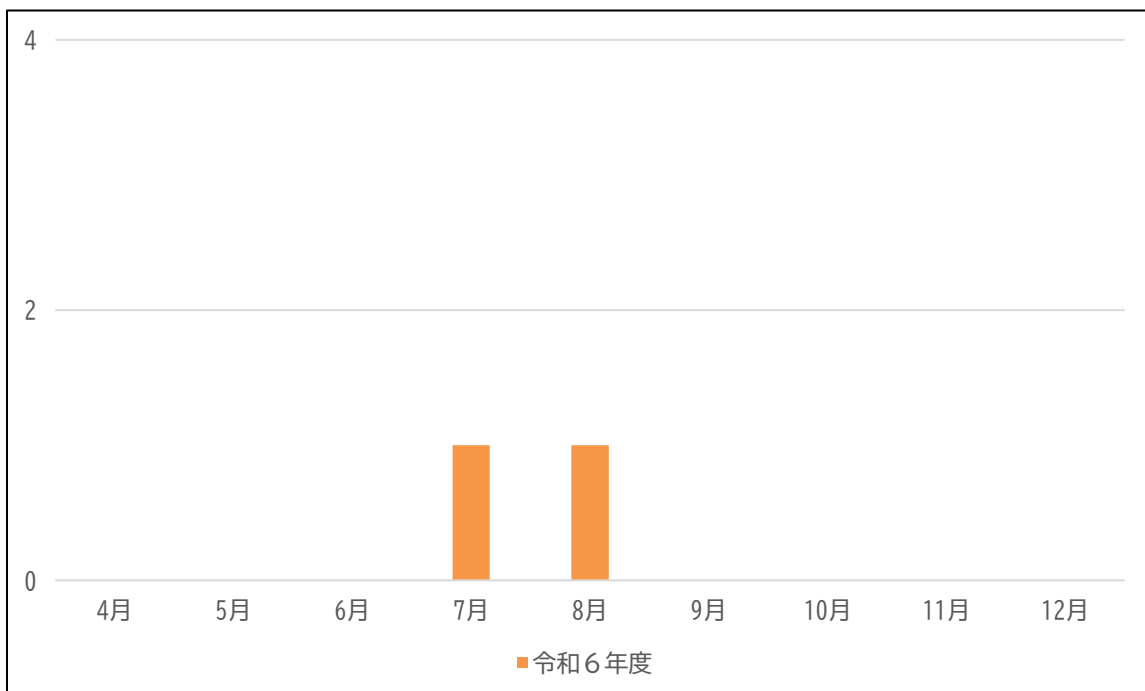


出典
※1 村上実氏より提供の画像を加工して作成

報告件数 2 件

見つけた時期

(件)



分布図



7月から8月にかけて2件の報告がありました。そのうち1件は香坂で確認されました。第6回の調査報告書（平成19年5月から11月の調査期間）では、谷川の上流でハコネサンショウウオの報告があり、今回17年ぶりにサンショウウオの確認となりました。

水質の指標にもなるサンショウウオですので、今後も注視する必要があります。

特定外来生物に指定！

令和6年7月1日より、在来のおおサンショウウオを守るため、外来種や交雑種は特定外来生物に指定され、駆除の対象になりました。

- おおサンショウウオ属／種の保存法に基づく「国際希少野生動植物種」
- おおサンショウウオ（在来種）／文化財保護法に基づく「特別天然記念物」
- チュウゴクおおサンショウウオ（外来種、交雑個体を含む）／
外来生物法に基づく「特定外来生物」

6 ニセアカシア（ハリエンジュ）

特徴

- ・ マメ科の落葉高木
- ・ 最大で高さ 25 メートル程度になる
- ・ 枝には鋭いトゲがある
- ・ 4月から6月にかけて、
白く垂れ下がった花が咲く
- ・ 花はフジの花の房を短くした印象
- ・ 市街地や海岸から低山地までの荒地、土手、野原などにしばしば群生する



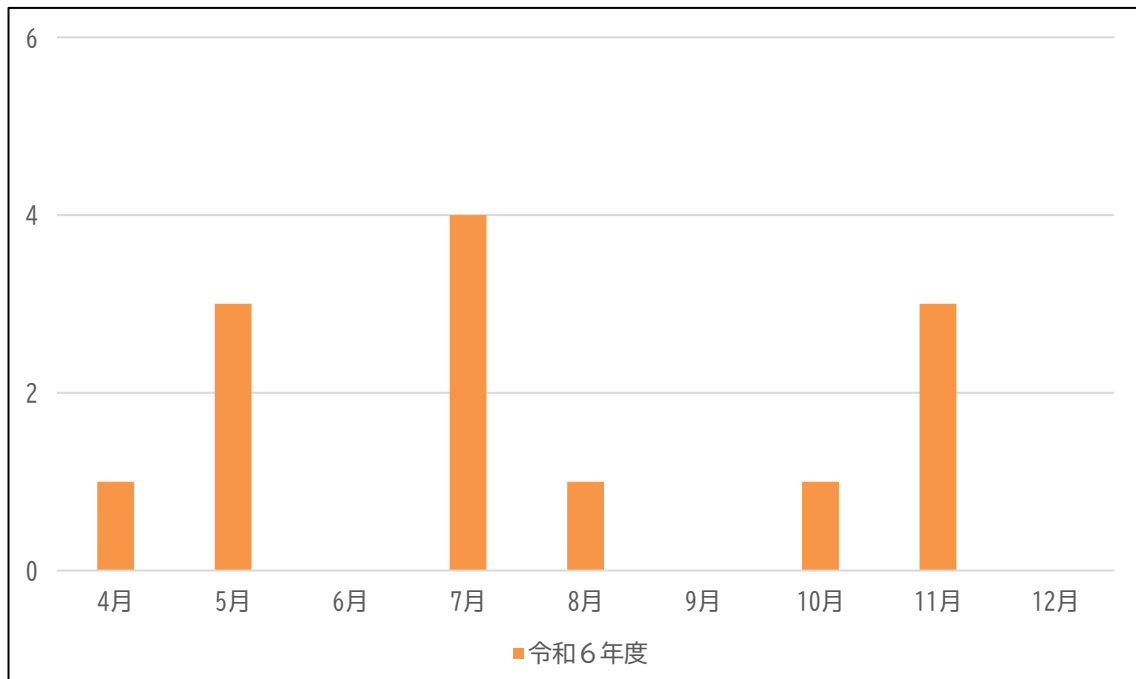
出典

※2 長野県環境保全研究所より提供の画像を加工して作成

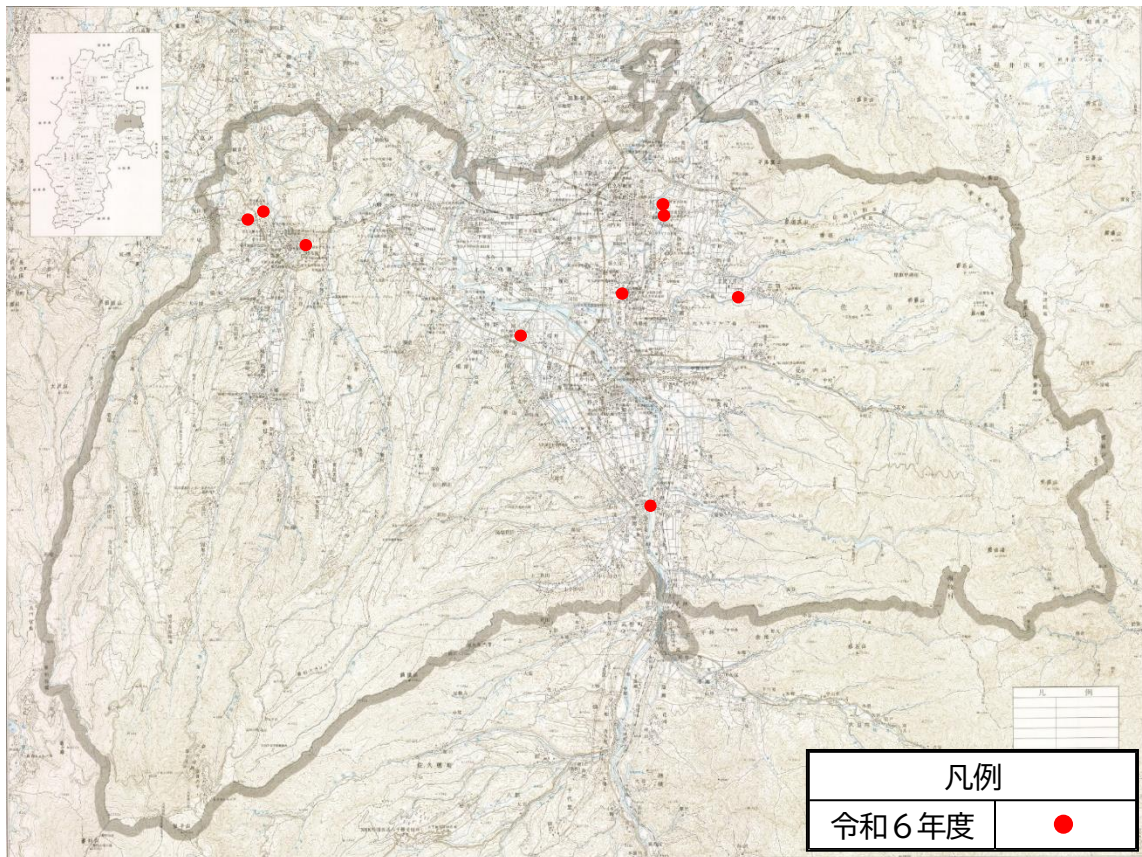
報告件数 13 件

見つけた時期

(件)



分布図



4月から11月にかけて13件の報告がありました。今まで令和元年度に平賀神社、令和4年度に稲荷山公園で報告がそれぞれ1件ありました。今回、主に河川沿いでの報告が目立ちました。また、報告場所ではそれなりに数も多かったようで、「たくさん確認できた」と複数の報告がありました。ニセアカシアの旺盛な繁殖力によって、急速に分布を拡大し、市内で見られるようになってきたのでしょうか。

今後ニセアカシアは、指標生物として数年に1回は調査対象種となるため、在来種や地域の景観に大きな影響を及ぼす外来種として、動向を注視していく必要があります。

調査員からの写真



岩村田

第2章 調査対象種以外

報告件数 1, 088 件（全報告数 1, 192 件の内数）

2-1 昆虫類

報告件数 532件／1, 088件中

	種類	発見場所（発見日）
1	アオハダトンボ	横根（8/19）
2	アカダニ	多福寺（5/14）、虚空蔵山（5/14）
3	アカトンボ	平賀神社（9/3）、稲荷山公園（9/12、9/13）、東小学校（10/13）、ほか3箇所（7/18、10/13、10/16）
4	アカボシゴマダラ	香坂集会所北（8/18）
5	アキアカネ	1箇所（9/13）
6	アゲハチョウ	虚空蔵山（5/14）、中央公園（6/12）、下原公会場（7/27）、稲荷山公園（9/12、9/13）、交流ひろば（10/14）、ほか7箇所（4/26、5/2、6/17、8/1、8/7、8/17、9/13）
7	アサギマダラ	蓼科スカイライン（5/11）、勝間（10/6）
8	アシナガバチ	5箇所（4/26、8/1、8/3、8/11）
9	アブ	さやか星小学校（7/22）、ほか2箇所（7/22、8/4）
10	アブラゼミ	駒場公園（7月、8/7、8/8）、ほか1箇所（7/23）
11	アブラムシ	佐久城山小学校（5/2）、ほか1箇所（5/2）
12	アメンボ	上原児童館近くの用水路（6/16）、泉小学校のビオトープ（7/12、8/28）、横根（8/19）、ほか1箇所（5/2）
13	アリ	若宮神社（4/25）、佐久城山小学校（5/7）、虚空蔵山（5/14）、若宮神社（5/15）、花園団地の公園（6/21）、中央公園（7/2）、泉小学校（8/28）、中原公民館（8/22）、平賀神社（9/3）、東小学校（10/4）、東中学校前（10/11）、ほか23箇所（4/17、4/27、4/29、5/2、5/7、5/8、8/8、8/23、9/1、9/2、9/3、10/1、10/5、10/14、10/17）
14	アワフキムシ	虚空蔵山（5/14）、ほか1箇所（5/14）

1 5	イトトンボ	さやか星小学校 (9/13)、稲荷山公園 (9/13)、ほか4箇所 (4/29、5/18、8/20、8/27)
1 6	イナゴ	1箇所 (8/17)
1 7	イボバッタ	さやか星小学校 (6/25、6/26)
1 8	イモムシ	モリカクカメラ前 (8/4)、ほか2箇所 (9/4、10/14)
1 9	ウスバシロチョウ	虚空蔵山 (5/14)
2 0	ウラナミジャノメ	モリカクカメラ店内 (8/13)
2 1	エゾトンボ	下平尾 (9/12)
2 2	エゾハルゼミ	上平尾 (5/26)
2 3	オオアメンボ	下平尾 (4/27、9/12)、横根 (8/19)
2 4	オオスズメバチ	セブンイレブン新子田店 (6/19)
2 5	オオムラサキ	南パラダ (7/4)、協和 (8/15)、小田井 (8/21)、ほか1箇所 (6/19)
2 6	オオルリシジミ	さやか星小学校 (6/2)
2 7	オオルリボシヤンマ	下平尾 (9/12)
2 8	オナガミズスマシ	香坂川 (8/21)
2 9	オニヤンマ	浅科小学校 (6/17)、鹿曲川 (7/21)、平尾山 (7/26)、小宮山 (8/1)、さやか星小学校 (8/27)、臼田総合運動公園 (9/1)、協和 (10/16)、ほか4箇所 (6/29、7/20、8/22、8/27)
3 0	蚊	3箇所 (8/16、9/7、9/21)
3 1	蛾 (蛾の繭を含む)	虚空蔵山 (5/14)、ほか2箇所 (8/15、8/20)
3 2	カブトムシ (幼虫を含む)	穂の香乃湯 (5/13)、浅科小学校 (7/17)、平賀神社 (9/3)、昆虫体験学習館周辺 (10/27)、ほか7箇所 (7/3、7/20、7/22、8/1、8/2、8/6、8/7)
3 3	カマキリ	東小学校 (9/5)、志賀 (10/11)、東保育園付近 (10/13)、ほか11箇所 (4/27、8/1、8/2、8/12、8/15、9/4、10/5、10/6、10/13、10/14)
3 4	カミキリムシ	駒場公園 (8/4)、ほか2箇所 (5/5、8/4)
3 5	カメムシ (卵を含む)	臼田総合運動公園 (8/8、9/1)、ほか8箇所 (5/1、6/20、7/22、8/2、8/3、8/5、9/2、9/28、)
3 6	カラスアゲハ	稲荷山公園 (9/13)
3 7	カラストンボ	3箇所 (6/25、8/11、9/1)
3 8	キアゲハ	稲荷山公園 (9/13)
3 9	キイロスズメバチ	泉児童館 (8/22)
4 0	キトンボ	平賀神社 (9/3)
4 1	キバネツノトンボ	下平尾 (6/12)

4 2	ギンバエ	稲荷山公園 (9/13)
4 3	ギンヤンマ	泉小学校 (7/29)、平賀神社 (9/3)、ほか 1 箇所 (10/13)
4 4	クビキリギス	さやか星小学校 (9/6)
4 5	クマバチ	下平尾 (4/26)、虚空蔵山 (5/14)、東小学校 (6/13)、ほか 3 箇所 (4/30、5/2、10/3)
4 6	クルマバッタ	さやか星小学校 (7/10)、志賀 (9/28)
4 7	クロトンボ	平賀神社 (9/3)
4 8	クロメンガタスズメ	春日 (8 月中旬)
4 9	クワガタムシ (幼虫を含む)	泉小学校 (9/5)、ほか 3 箇所 (7/1、8/27、9/10)
5 0	ケムシ	佐久城山小学校 (5/7)、杉の木貯水池 (5/10)、ほか 3 箇所 (6/5、7/10、8/19)
5 1	ゲンジボタル	安養寺南の霞川周辺 (6/24)、上平尾 (6/24)
5 2	コオイムシ	八幡 (5/18)
5 3	コオニヤンマ	横根 (8/19)
5 4	コオロギ	平賀神社 (5/2)、泉小学校 (7/12)、泉公園 (8/22)、ほか 1 箇所 (9/13)
5 5	コガネムシ	2 箇所 (8/7、8/8)
5 6	ゴキブリ	駒場公園 (7/3)
5 7	コクワガタ	今井 (5/6)
5 8	コシボソヤンマ	横根 (8/19)
5 9	ゴマダラカミキリムシ	中佐都橋下 (7/23)
6 0	コムスジ	モリカクカメラ (5/9)
6 1	ゴミムシ	1 箇所 (7/12)
6 2	サナエトンボ	1 箇所 (7/22)
6 3	シオカラトンボ	虚空蔵山 (5/14)、モリカクカメラ (6/10)、望月諏訪神社 (7/21)、ほか 3 箇所 (7/22、8/25、9/2)
6 4	シジミチョウ	1 箇所 (5/2)
6 5	シャクトリムシ	虚空蔵山 (5/14)、
6 6	ジャコウカミキリ	モリカクカメラ (7/28)
6 7	ショウリョウバッタ	千曲川 (5 月)、泉小学校 (9/1)、佐久平浅間小学校 (9/10)、稲荷山神社 (9/13)、ほか 8 箇所 (6/21、7/14、8/2、8/21、8/25、9/2、9/4)
6 8	シラガダユウ	虚空蔵山 (5/14)
6 9	シロスジカミキリ	鼻顔稲荷神社敷地内 (7/20)
7 0	スズムシ	駒寄 (8/19)、ほか 1 箇所 (8/22)

7 1	セミ (抜け殻を含む)	平賀神社 (5/2、9/3)、稲荷山公園 (9/12、9/13) ほか 1 5箇所 (7/30、8/1、8/11、8/12、8/17、 8/19、8/21、8/27、9/2、9/3、9/13)
7 2	ゾウムシ	1 箇所 (8/1)
7 3	タイコウチ	取出町 (4/27)、蓬田 (5/18)、ほか 1 箇所 (6/2)
7 4	タガメ	1 箇所 (8/2)
7 5	チッチゼミ	印内原 (12/17)
7 6	チョウ	佐久城山小学校 (5/2)、虚空蔵山 (5/14)、稲荷山 公園 (9/13)、ほか 1 2箇所 (4/27、5/2、5/6、 8/18、8/20、8/21、8/25)
7 7	チョウセイカマキリ	1 箇所 (10/12)
7 8	ツバメシジミ	岩村田 (5 月中旬)
7 9	ツマキレオナガミズス マシ	香坂川 (8/21)
8 0	ツマグロヒョウモン	モリカクカメラ (11/16)
8 1	テントウムシ	佐久城山小学校(5/1、5/2)、岩村田小学校(5/10)、
8 2	トノサマバッタ	佐久城山小学校 (9/3)
8 3	トビケラ	中佐都橋下の湯川 (7/26)
8 4	トンボ	小田井 (8/14)、洞源湖 (8/18)、八幡神社 (8/18)、 佐久城山小学校 (9/3)、平賀神社 (9/3)、稲荷山 公園 (9/13)、ほか 1 5箇所 (8/1、8/5、8/15、 8/20、8/21、8/22、8/24、9/2、9/3、9/5、10/14、 10/17)
8 5	ナナホシテントウムシ	虚空蔵山 (5/14)
8 6	ニイニイゼミ	下平尾 (6/10)
8 7	ニホンミツバチ	1 箇所 (8/14)
8 8	ノコギリクワガタ	さくらさく小径 (8/11)、ほか 2 箇所 (7/23、8/3)
8 9	ハエ	3 箇所 (5/7、5/10)
9 0	ハグロトンボ	片貝川 (7/13)、モリカクカメラ (7/31)、横根 (8/19)、ほか 3 箇所 (7/14、7/22)
9 1	ハチ	佐久城山小学校 (5/1、5/7)、中央公園 (5/13、 7/7)、泉小学校 (7/12)、駒寄 (8/18)、臼田総合 運動公園 (9/1)、稲荷山公園 (9/13)、東小学校 (4/17、10/16)、ほか 1 3箇所 (4/26、4/28、 5/4、5/5、7/20、8/1、8/5、8/12、8/21、8/28、 8/29、10/1)

9 2	バッタ	平賀神社 (5/2、9/3) 虚空蔵山 (5/14)、下原公会場 (8/8)、稲荷山公園 (9/13)、ほか 19 箇所 (5/2、5/7、5/17、7/21、7/28、7/29、7/31、8/1、8/14、8/16、8/22、8/30、9/2、9/7、9/13、10/6、10/15)
9 3	バナナムシ	1 箇所 (7/21)
9 4	ハリガネムシ	1 箇所 (8/28)
9 5	ハルゼミ	上平尾 (6/8)
9 6	ヒアリ	平根小学校 (4/28)
9 7	ヘビトンボ	中佐都橋下の湯川 (7/26)
9 8	ホタル	片貝川 (7/7)、ほか 1 箇所 (7/8)
9 9	マメコガネ	1 箇所 (7/12)
1 0 0	ミズスマシ	下平尾 (4/15、5/4、9/12)
1 0 1	ミツバチ	2 箇所 (4/26、9/4)
1 0 2	ミヤマセセリ	上平尾 (5/26)
1 0 3	ミンミンゼミ	1 箇所 (8/5)
1 0 4	ムラサキトビケラ	下平尾 (6/13)
1 0 5	モンキチョウ	竹田 (5/14)、虚空蔵山 (5/14)、ほか 1 箇所 (5/2)
1 0 6	モンシロチョウ (幼虫を含む)	佐久城山小学校 (5/2)、一本柳公園 (5/11)、虚空蔵山 (5/14)、鼻顔公園 (7/1)、浅科小学校 (8/19)、稲荷山公園 (9/13)、ほか 8 箇所 (4/26、4/27、4/28、5/2、6/8、6/17、9/13)
1 0 7	ヤゴ	洞源湖 (8/24)
1 0 8	ヨコヅナサシガメ	杉の木貯水池 (5/8)
1 0 9	名称不明	佐久城山小学校 (4/26)、虚空蔵山 (5/14)、ほか 5 箇所 (5/7、5/8、6/27、8/1、8/21)

調査員からの写真



アサギマダラ (前山)



エゾハルゼミ (上平尾)



コオイムシ (八幡)



コクワガタ (今井)



ゴマダラカミキリムシ (中佐都橋下)



シロスジカミキリ (鼻顔稲荷神社)



タイコウチ (蓬田)



アブラゼミ (駒場公園)



ハルゼミ（上平尾）



ミヤマセセリ（上平尾）



ヨコヅナサシガメ（杉の木貯水池）



イモムシ（西本町）



ウラナミジャノメ（西本町）



コミスジ（西本町）



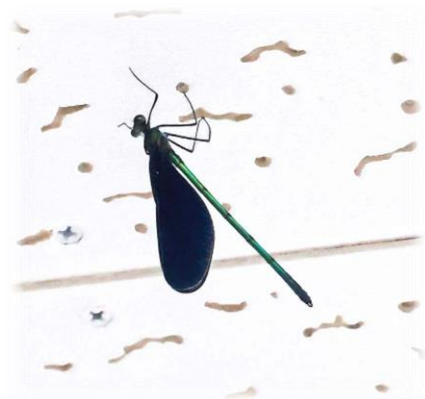
シオカラトンボ（西本町）



ジャコウカミキリ（西本町）



ツマグロヒョウモン（西本町）



ハグロトンボ（西本町）

2-2 植物類

報告件数 98件／1,088件中

	種類	発見場所（発見日）
1	アサガオ	泉小学校（8/28）
2	アレチウリ	千曲川河川敷（8/7）、協和（10/16）
3	梅	平賀神社（5/2、9/3）
4	ウルシ	虚空蔵山（5/14）
5	オオイヌノフグリ	若宮神社（4/29）、ほか1箇所（5/2）
6	オオカワヂシャ	岸野小学校北側用水路（5/15）、野沢橋下（5/26）、佐久大橋東岸下流（6/7）、三条大橋下（7/9）、千曲川河川敷（8/7）
7	オオキンケイギク （葉っぱを含む）	高柳（5/30）、野沢橋南詰信号を西側（5/30）、原（5/30）、南上ノ城（6/2）、根岸（6/6）、跡部入口交差点（6/7）、アベニュー区（6/10）、平井入口交差点付近（6/12）、長土呂（6/14）、細萱事務所の角（6/20）、法務局駐車場付近（6/20）、千曲川河川敷（6/20）、エルピーガス保安センター付近（6/20）、美里南交差点（6/27）、宮東（6/27）、瀬戸大橋交差点付近（6/27）、三条大橋下（7/9）、野沢市営墓地（7/23）、新子田市営墓地（7/23）、上原交差点付近（10/22）、道の駅ほっとぽ〜く浅科付近（10/22）
8	コスモス	稲荷山公園（9/13）、ほか1箇所（8/28）
9	サクラソウ	旧美笹自然観察園（5/11）、ほか1箇所（6～7月）
10	サクラの木	1箇所（8/28）
11	シダレザクラ	招魂社（4/22）
12	スズランスイセン	1箇所（4/27）
13	スミレ	虚空蔵山（5/14）
14	タイヌビエ	1箇所（9/2）
15	タンポポ	虚空蔵山（5/14）、ほか1箇所（5/2）
16	ツリフネソウ	虚空蔵山（9/29）
17	トリカブト	虚空蔵山（9/29）
18	ドングリ	花園団地（6/12）、稲荷山公園（9/13）
19	ナガミヒナゲシ	岩村田駅前（5/8）
20	ナズナ	佐久城山小学校（5/2）、ほか1箇所（4/28）
21	ヒマワリ	2箇所（8/22、8/28）
22	ヒメオドリコソウ	みはらしの湯（4/27）

2 3	フジ	稲荷山公園 (9/13)
2 4	ベニバナイチヤクソウ	1 箇所 (5/14)
2 5	ホウセンカ	1 箇所 (8/28)
2 6	ホタルサイコ	虚空蔵山 (5/14)
2 7	ポピー	1 箇所 (5/7)
2 8	ホンスミレ	野の鳥の丘公園 (4/28)
2 9	ミズバショウ	1 箇所
3 0	四つ葉のクローバー	花園団地付近 (6/11)
3 1	名称不明	招魂社付近 (5/10)、虚空蔵山 (5/14)、平賀神社 (6/28)、中央公園 (7/1)、

調査員からの写真



サクラソウ (旧美笹自然観察園)



ツリフネソウ (虚空蔵山)



トリカブト (虚空蔵山)

2-3 魚類・両生類・は虫類

報告件数 105件／1,088件中

	種類	発見場所（発見日）
1	アオダイショウ	平賀神社（4/25）
2	アカガエル	1箇所（7/13）
3	アブラハヤ	1箇所（9/2）
4	アマガエル	さやか星小学校（8/27）、ほか4箇所（5/2、8/25、9/2、）
5	オタマジャクシ	2箇所（6/13、9/2）
6	カエル	佐久城山小学校の前庭（5/2）、佐久城山小学校（5/2、5/3）、佐久城山小学校のプール（6/5）、大平公園前（7/10）、ピオトープ（7/12）、平賀神社（9/3）、東小学校（4/17、10/17）、ほか23箇所（4/17、5/2、7/17、8/1、8/14、8/19、8/20、8/27、8/31、9/2、9/4、10/14、10/17）
7	カジカ	鹿曲川（7/21）
8	カナヘビ	8箇所（5/2、7/25、7/29、8/15、8/17、9/5、10/14）
9	カメ	1箇所（7/12）
10	コイ	美笹湖（5/14）
11	ツチガエル	1箇所（9/2）
12	トカゲ	3箇所（7/12、8/14、10/14）
13	ドジョウ	千曲川（8/17）、塚原（12/23）、ほか4箇所（9/2、9/5、9/13）
14	ニホンカナヘビ	中央図書館（5/2）、鹿曲川（7/21）
15	ニホントカゲ	稲荷山公園（9/13）
16	ハヤ	中佐都橋下の湯川（7/26）
17	フナ	泉（7/20）、片貝川（7/21）
18	ブラックバス	美笹湖（5/14）
19	ブルーギル	美笹湖（5/14）
20	ヘビ	平賀神社（4/23、4/25、7/6）、ほか7箇所（6/16、6/19、7/12、8/21、9/3、9/16、10/3）
21	マムシ	東小学校付近（10/16）
22	メダカ	2箇所（8/19、9/2）
23	ヤマメ	片貝川（7/21）
24	ルリトカゲ	協和（10/16）
25	名称不明	東小学校の田んぼ（9/2）、千曲川（10/20）、ほか2箇所（9/2）

2-4 鳥類

報告件数 208件／1,088件中

	種類	発見場所（発見日）
1	アオゲラ	杉の木貯水池（12/1）
2	アオサギ	虚空蔵山（5/14）、杉の木貯水池（12/1）、ほか3箇所（5/14、8/13、）
3	アカエリヒレアシシギ	杉の木貯水池（9/21）
4	アカゲラ	大河原峠（6/15）、美笹湖（12/22）
5	アトリ	杉の木貯水池（12/1）、美笹湖（12/22）
6	イカル	美笹湖（12/22）
7	イカルチドリ	杉の木貯水池（12/1）
8	イワツバメ	竹田の歩道橋（5/14）、虚空蔵山（5/14）、岩村田（5月中旬）
9	ウグイス	大河原峠（6/15）
10	ウソ	大河原峠（6/15）
11	エゾムシクイ	大河原峠（6/15）
12	エナガ	駒場公園（6/22）、杉の木貯水池（12/1）、美笹湖（12/22）
13	オオタカ	長野牧場（7/10）、岩村田（9/29）
14	オオバン	杉の木貯水池（12/1）、美笹湖（12/22）
15	オカヨシガモ	杉の木貯水池（12/1）
16	カイツブリ	杉の木貯水池（12/1）
17	カケス	杉の木貯水池（12/1）、美笹湖（12/22）
18	カシラダカ	美笹湖（12/22）
19	カッコウ	西本町（6/2）、大河原峠（6/15）
20	ガビチョウ	美笹湖（12/22）
21	カモ	平賀神社（5/7）、浅科小学校付近（6/13）、ほか1箇所（6/14）
22	カラス	岩村田（5/2）、浅科保育園（6/12、6/13）、新子田橋（10/16）、ほか9箇所（6/19、6/24、7/23、8/17、9/4、10/10、10/17）
23	カルガモ	杉の木貯水池（12/1）
24	カワアイサ	杉の木貯水池（12/1）
25	カワウ	杉の木貯水池（12/1）
26	カワラヒワ	杉の木貯水池（12/1）、美笹湖（12/22）
27	カンムリカイツブリ	杉の木貯水池（7/15、8/27、9/7、9/18、9/27、9/29、

		10/17、11/24、12/1、12/4)
28	キクイタダキ	大河原峠 (6/15)
29	キジ	杉の木貯水池 (12/1)
30	キジバト	大河原峠 (6/15)、杉の木貯水池 (12/1)
31	キセキレイ	大河原峠 (6/15)
32	キンクロハジロ	杉の木貯水池 (12/1)
33	クサシギ	杉の木貯水池 (12/1)
34	クロジ	大河原峠 (6/15)
35	コガモ	杉の木貯水池 (12/1)
36	コガラ	大河原峠 (6/15)、杉の木貯水池 (12/1)、美笹湖 (12/22)
37	コゲラ	杉の木貯水池 (12/1)、美笹湖 (12/22)
38	コサメビタキ	駒場公園 (6/22)
39	コムクドリ	駒場公園 (6/13)
40	コルリ	大河原峠 (6/15)
41	サギ	中原 (6/14)
42	サンショウクイ	旧美笹自然観察園 (5/11)、虚空蔵山 (5/14)
43	シジュウカラ	大河原峠 (6/15)、杉の木貯水池 (12/1)、美笹湖 (12/22)
44	ジョウビタキ	旧美笹自然観察園 (5/11)、大河原峠 (6/15)、モリカクカメラ裏側 (11/16)、杉の木貯水池 (12/1)、
45	シラサギ	1箇所
46	シロサギ	協和 (9/2)、ほか1箇所 (8/27)
47	シロハラ	美笹湖 (12/22)
48	スズメ	一本柳公園 (5/14)、杉の木貯水池 (12/1)、ほか7箇所 (4/14、4/26、5/12、6/19、9/20、9/22、10/12)
49	セグロセキレイ	杉の木貯水池 (12/1)、美笹湖 (12/22)
50	センダイムシクイ	杉の木貯水池 (8/14)
51	ダイサギ	杉の木貯水池 (12/1)
52	ツグミ	美笹湖 (12/22)
53	ツツドリ	大河原峠 (6/15)
54	ツバメ	佐久篠山小学校 (5/2、5/7)、佐久城山小学校の体育館 (6/5)、モリカクカメラのテント下 (4/10～8/15)、ほか9箇所 (4/28、5/2、5/7、6/13、6/18、8/1、8/17、9/4、9/28、)
55	トビ	大河原峠 (6/15)、杉の木貯水池 (12/1)
56	トモエガモ	杉の木貯水池 (11/8)
57	トンビ	1箇所 (6/24)

5 8	ハクセキレイ	杉の木貯水池 (12/1)
5 9	ハシビロガモ	杉の木貯水池 (12/1)
6 0	ハシブトガラス	杉の木貯水池 (12/1)、美笹湖 (12/22)
6 1	ハシボソガラス	杉の木貯水池 (12/1)、美笹湖 (12/22)
6 2	ヒガラ	大河原峠 (6/15)
6 3	ヒドリガモ	杉の木貯水池 (12/1)
6 4	ヒヨドリ	西本町 (7/3、7/24、8/20)、杉の木貯水池 (12/1)、 ほか1箇所 (6/14)
6 5	ビンズイ	大河原峠 (6/15)
6 6	フクロウ	1箇所 (8/20)
6 7	ベニマシコ	美笹湖 (12/22)
6 8	ホオジロ	大河原峠 (6/15)、杉の木貯水池 (12/1)、美笹湖 (12/22)
6 9	ホシハジロ	杉の木貯水池 (12/1)
7 0	ホトトギス	大河原峠 (6/15)
7 1	マガモ	杉の木貯水池 (12/1)
7 2	ミコアイサ	杉の木貯水池 (12/1)
7 3	ミヤマホオジロ	中込 (11/8)
7 4	ムクドリ	杉の木貯水池 (12/1)
7 5	メボソムシクイ	大河原峠 (6/15)
7 6	モズ	大河原峠 (6/15)、杉の木貯水池 (12/1)
7 7	ヨシガモ	美笹湖 (12/22)
7 8	ルリビタキ	大河原峠 (6/15)
7 9	名称不明	SEIYU 岩村田店駐車場 (5/12)、ほか1箇所 (5/28)

調査員からの写真



オオタカ (長野牧場)



カンムリカイツブリ (杉の木貯水池)



コサメビタキ（駒場公園）



コムクドリ（駒場公園）



センダイムシクイ（杉の木貯水池）



トモエガモ（杉の木貯水池）



ミヤマホオジロ（中込）



カワセミ（湯川）



カッコウ (西本町)



キジバト (西本町)



ジョウビタキ (西本町)



ヒヨドリ (西本町)



ツバメ (西本町)

2-5 ほ乳類

報告件数 14件／1,088件中

	種類	発見場所（発見日）
1	イタチ	平尾山（12/19）
2	キツネ	岩村田（4/30）、大河原峠（6/15）、ほか1箇所（7/13）
3	サル	JA 佐久浅間しらかばアイスヨーグルト工場（12/12）、ほか1箇所（8/12）
4	シカ	1箇所（10/17）
5	タヌキ	1箇所（6/17）
6	ニホンジカ	大河原峠（6/15）、望月高原牧場（10/31）
7	ネコ	中原の野原（6/15）
8	ハクビシン	1箇所（9/18）
9	名称不明	常田（5/24）

調査員からの写真



コウモリ（佐久平駅北）



ハクビシン（常田）

2-6 その他

報告件数 131件/1,088件中

	種類	発見場所（発見日）
1	アワフキムシの繭	虚空蔵山（5/14）
2	ウスタビガの巣	虚空蔵山（5/14）
3	エビ	中佐都橋下の湯川（7/26）、千曲川（10/20）、ほか1箇所（9/2）
4	カタツムリ	三分（9/7）
5	カニ	竹田（4/30）、東中学校（10/17）、ほか1箇所（9/2）
6	カブトエビ	佐久平浅間小学校付近（6/15）、蓬田（6/25）、ほか1箇所（8/30）
7	キノコ	虚空蔵山（5/14）、平賀神社（9/3）
8	クモ	佐久城山小学校（5/2、10/17）、平賀神社（9/3）、稲荷山公園（9/13）、ほか8箇所（4/26、5/2、8/28、9/4、9/20、11/1）
9	ゲジゲジ	佐久城山小学校（5/7）、ほか2箇所（7/27）
10	サワガニ	竹田（4/3、4/30）、ほか4箇所（6/22、7/5、8/17、9/13）
11	シロオニタケ	虚空蔵山（9/29）
12	ジョロウグモ	1箇所（9/2）
13	ダニ	佐久城山小学校（5/2）、ほか3箇所（5/2、8/20）
14	タニシ	東小学校の田んぼ（9/2）、ほか3箇所（6/23、7/5、8/17）
15	ダンゴムシ	若宮神社（4/30、5/12）、佐久城山小学校（5/1、5/2、5/7）、東小学校（6/13）、上原児童館駐車場（6/30）、ほか10箇所（4/28、5/2、5/8、6/19、7/14、7/18、7/26、9/30）
16	毒キノコ	1箇所（9/3）
17	ナメクジ	東中学校（10/17）、ほか5箇所（7/18、7/19、9/29、10/13、10/29）
18	ヌマエビ	1箇所（8/17）
19	ハチの巣	虚空蔵山（5/14）
20	マダニ	1箇所（5/7）
21	マダラコウラナメクジ	甲（4/13）、取出町（5/2）
22	ミミズ	千曲川（4/26）、佐久城山小学校（5/7、9/20）、招魂社（7/8）、泉小学校（7/12）、岩村田小学校付

		近(7/12)、稲荷山公園(11/1)、ほか2箇所(8/28、10/1)
2 3	ムカデ	佐久城山小学校(9/20)
2 4	名称不明	3箇所(9/2)

調査員からの写真



カブトエビ（蓬田）



マダニ（取出町）



シロオニタケ（虚空蔵山）

調査員から寄せられた感想

(個人情報保護等のため一部変更、省略しています。)

- ・初めて東電調整池(杉の木貯水池)に行ったけど、カワセミが見れてよかった。本当にいるんだなと思った。写真もとれてよかった。
- ・こんかいは一ぴきしか見つけられなかったけど、もうすこし生き物にきょうみをもってがんばりたいです。
- ・他の季節では見られない虫たちが、夏では見られてとてもめずらしくてこうふんしました。
- ・外来種という植物はまだありそうなので、今度の夏休みにニセアカシア以外のものを探してみたいです。
- ・愛知では、あまり虫がいなかったけれど、佐久ではたくさんの虫がいて虫好きのぼくは、ひっこししてきて良かったなと思いました。とくに「ハグロトンボ」はヒラヒラとチョウのように飛んでいて、きれいだなと思いました。
- ・生物たちが自分たちみたいにくらしていて、なんだかその生き物たちの家のをぞくのがわたしは好きです。これからも生き物たちをかんさつしていきたいと思います。
- ・わたしは、むかしから虫がきらいでした。でもきょう、虫やしよくぶつのはなしをきいてしらないことがいっぱいあって、虫やしよくぶつがちょっとだけわかった気がします。こんどおかあさんとかにじまんしたいです。
- ・いがいに人の見えない所にかくれていて、とってもさがすのがたいへんだった。もっといろいろなこんちゅう、動物、植物の事をもっとしりたくなってきました。
- ・この生き物ちょうさカードをして、私はいろいろな虫や動物、植物を見て、自然っておもしろいなとあらためて感じました。私は、もともと虫や動物を見ってきましたが、最近外に出ずにいたので、久しぶりの虫や動物を見てうれしくなりました。見たことのない虫や動物にも出会うことができましたし、図かんで

しか見たことのない虫や動物に会うこともできました。

- ・きせつによって虫がちがった。とても、おもしろかった。とくに、ちょうちよがきれいでとても気に入った。ばしょによっているいきものがちがった。これからも、虫さがしにとりくんでたくさんのはっけんをしたいです！！ 次の目標 みたことのない虫をさがす！！
- ・ぼくは東京に住んでいました。東京はコウモリがたくさんいたけど佐久市では見たことありません。今度は、学校の外や川や家の近くにいる生物をさがしてみたいです。
- ・夏は生き物がたくさんいて、外に出るとすぐに虫を見つけられると思いました。お昼は虫がたくさんいるけど、夜は外から虫の鳴き声がたくさんしました。
- ・虫ってそんなにいっぱいいるの？ と思っていたけど、けっこういっぱいいてびっくりしました。
- ・いつもは、虫やとりを気にしたり、見たりしてなかったけど、このちょうさひょうのおかげで、虫やとりのことをよく見れてとてもいいきかいになれてうれしいです。
- ・いろいろな植物や小さな生き物もいた。いままで知らなかった生きものがたくさん知れた。とくに鳥のことがよくわかった。そして前よりもいろいろな生きものをくわしく調べてみたいと思った。

考察専門員の先生から

・木内 清 先生（鳥類）

鳥類は208件、78種類（種が確定できなかったものを除いた数）の報告がありました。自分の家の周りだけでなく、杉の木貯水池、旧美笹自然観察園、大河原峠など多様な環境での観察結果を寄せていただきました。今年度の調査対象種カワセミについての報告は少なかったのですが、市街地周辺や望月の溪流など幅広い環境にわたっていました。

特筆すべきは、冬の鳥だったカンムリカイツブリが杉の木貯水池で繁殖したことです。これまで青森県や琵琶湖での繁殖が知られていましたが、長野県での繁殖は初めてのことです（諏訪湖でも今年度初確認）。年々冬の個体数が増えていたことや、水草のヒシが広がるようになったことが繁殖につながったと考えられます。

同じように冬の鳥だったジョウビタキも、市内で繁殖するようになってきました。これらが、通年見られる繁殖鳥として定着するのか、経過を見ていく必要があります。

・篠澤 明剛 先生（哺乳類、魚類、両生類、爬虫類）

■コウモリ

コウモリは翼手目の動物で佐久地方にも生息をしています。胴体と後足と尾との間にうすい膜があります。この膜を使って主に夜間に飛び回ります。日中は洞窟や屋根裏や樹洞などで寝ていることが多いですし、寒い時期は冬眠をしますので、なかなかコウモリを目にすることは少ないです。

今回の調査では多くの情報が寄せられました。主に市の中央部からの目撃例がありました。これはおそらくは夜間の照明に照らされての目撃かと思われます。またコウモリは声帯から超音波を発しながら夜間に飛び回るので、その声を聞いて確認をされたのかもしれませんが。

市内では山間部や森林内でもコウモリは生息していますが、それを確認することは、なかなか難しいと思われます。コウモリは害虫を捕食してくれるので大切にしたい野生動物と言えるでしょう。一方、市内の一部ではコウモリによる住宅や建物への糞害もみられるようになりました。

■ヤモリ

ヤモリは爬虫類ヤモリ科に属するトカゲ類です。今回の調査はニホンヤモリで、全長10センチ程度で主に夜間に壁や窓などに貼りついて虫を捕食していることがあります。

市内で主に見られる時期は夏であり、気温が低い時期は冬眠をします。ヤモリは日本各地に生息していますが、その多くが東北地方以南であり、また高冷地ではあまり目撃されません。以前は山形県が生息の北限とされましたが、最近秋田県の一部でも見られるそうです。調査では市内に広く分布はしていない様子が伺えます。特に山間部や民家のないエリアでは生息していない可能性があります。ヤモリは蚊や蛾などの害虫を食べてくれますので、家を守る「家守」とも言われてきました。今後も調査を重ねて、生息範囲などの動向に注視したいものです。

■サンショウウオ

サンショウウオは両生類有尾目に属し、豊かな自然環境の指標ともなっています。佐久地域では昔から山間部でみられ、捕まえて食べたり、薬にする文化もあったといえます。高度成長時代以降は市内では、あまり見かけなくなっています。かつては、内山地域などでは群れるほどいたとの情報もあります。

今回のサンショウウオは佐久市香坂の遺跡の研究者の方が遺跡周辺の小川で見つけてくれました。小さめの個体が水中にいたそうです。また別の研究者の方も同じ場所で何度もサンショウウオを目撃されていました。こちらも小川の中に沈んでいるところを観察されています。捕獲や撮影も試みたそうですが、できなかったようです。

余談ですが、この研究者の皆様は昨年8月に佐久穂町大石川上流に行かれましたが、水中の石をひっくり返したところ、川底が真っ黒になる位の大量のサンショウウオ（おそらくハコネサンショウウオ）を目撃されています。この日は非常に気温が高かったので、サンショウウオが冷たい川底に集まったのではないのでしょうか、と話しておられました。今回の香坂地区、大石川サンショウウオの種類の特定には至りませんでした。非常に貴重な情報となりました。

・沼田 清 先生（魚類）

皆さんはおうちの近くの川に近づくことはありますか？

毎朝、犬と一緒に散歩している方もいらっしゃることでしょう。

また、たまの日曜日に川遊びしたり、魚釣りしたりする方もいらっしゃるでしょう。安全に気を付けてもっともっと川に近づいてみましょう。

川の景観は地域の自然環境そのものです。

- ・目で見て = 緑の具合や水の色や濁りなど
- ・耳で聞いて = 川の音、風の音、鳥のさえずり
- ・鼻で匂いを嗅ぐ = 季節ごとの花や草のにおい
- ・触れてみる = 川の虫や魚にふれてみよう
- ・口で味わう = 昔から川から頂く食物は貴重な栄養源

自然の変化を見つけるのは五感で感じるものが一番大切なことです。

・佐藤 文一 先生（植物類）

今回植物類の報告件数の半数が、帰化植物、園芸植物で、市内でも外来植物が多くなっているということなのではないでしょうか。また、スミレ、タンポポについて、一口にスミレといっても日本には50種類以上のスミレが自生している。変種を含めれば100種類以上にもなる。スミレという名前の種類もあるため、スミレというと、スミレの仲間全体を指す場合と、単一の種類を指す場合があってまぎらわしい。そこで、単一種としてのスミレを指す時に限って、学名のマンジュリカで呼ぶ人もいます。このマンジュリカ（和名 スミレ）は市内では数が減ってしまい、貴重な一種です。

タンポポは愛らしい名前である。漢字で「蒲公英」と書くのは漢名をそのまま使ったもので、たんぽぽという音は、日本で生まれた呼び名で、いくつかの説がある。丸い綿毛の穂をたんぽに見立てて、たんぽ穂。古名の田菜（たな）にぽほけた穂という意味でたなぽほから、たんぽぽとなった。語源はどうあれ、近年は一年中花を咲かせるセイヨウタンポポがよく見られるが、在来種のタンポポは、花の下総苞片（そうほうへん）が反り返らない。セイヨウタンポポは総苞片が反り返っている。花の付け根の部分を見比べてみてください。

まとめ

今回の調査では、第二次佐久市環境基本計画の指標生物の中から４種と市内各地で観察が可能な２種を選定し、その全てについて報告がありました。

調査対象種については、まず市内でサンショウウオが１７年ぶりに確認されたことはとても貴重な報告となりました。コウモリ類は、令和３年度の調査から報告件数が減少しましたが、住宅地の屋根裏に１００匹以上いるという報告もあり、個体数として減少したかどうかは不明です。逆にヤモリやゲンゴロウは、令和３年度の調査から報告件数が増加しました。環境省及び複数の都道府県でレッドリストの指定を受けているため、市でも報告が寄せられた場所や数など、今後も注視していく必要があります。「飛ぶ宝石」と呼ばれているカワセミは、今回の調査で報告件数が１１件となり、前回の調査（平成２８年度）７件から報告件数が微増しました。報告場所としては、河川の近くまたは湖や池のある場所が目立ちました。個体数が少ないと言われているカワセミの報告件数・報告場所が把握できたことは、重要な情報となりました。ニセアカシア（ハリエンジュ）はこれまで令和元年度、令和４年度と１件ずつ報告がありましたが、今回の調査では１３件となり、調査対象種になったことから報告件数が増加したと思われます。元々土手や法面を補強するために植えた経過があるので、河川沿いでの報告が目立ちました。

全体の報告件数は、昨年度と比べると２７０件ほど増加しました。一つの要因として、ＬＩＮＥの報告があげられます。今年度の一般の報告件数が２５７件（昨年度１８２件）でそのうちＬＩＮＥの報告件数は１３６件（昨年度４８件）でした。昨年度と比べると、８８件増えています。スマートフォンから簡単に報告ができる手軽さが、最大のメリットです。令和３年度からＬＩＮＥでの報告を受け付けていますが、今後も報告件数の増加が予想されます。

また、今年度の小学生の報告件数は９３５件で、昨年度より２００件ほど増加しました（昨年度７４１件）。市内私立小学校及び大日向小学校、小諸養護学校にも範囲を広げて、周知していることも報告件数が増加した要因の一つだと考えています。今後も小学校には「わが家のエコ課長」を通して、積極的に協力を促していく予定です。

最後になりますが、ページの都合によりお寄せいただいた写真や感想のすべてをご紹介できませんでしたこととお詫びするとともに、今年度も多くの皆様に調査にご協力いただきましたことを改めて感謝申し上げます。

（文責：環境政策課）



令和 6 年度 緑の環境調査
佐久市生きものさがし 調査報告書
令和 7 年 3 月発行

編集発行：佐久市役所 環境部 環境政策課
〒385-8501 長野県佐久市中込 3056
電話 0267-62-2917
FAX 0267-62-2289